

最後の最後まで

七組 張 祐銓

日本語を習うために今年の四月から大阪へ来て住んでいます。前に台湾から東京へ旅行に行。たことがあります。こんなに長い期間日本に住むのははじめてです。自分で日本の色々なものをよく感じて色々なことをよく考えることができます。すばらしい期間だと思います。それは勉強のことだけではありません。

ある日、日本語学校の先輩は野球が大好きですから、五月に私達を野球の試合にさそってくれました。甲子園で阪神タイガース対日本ハムファイターズの試合を見ました。日本ハムには台湾の選手のヤンさんがいます。でも、私は大阪に住んでいるので、どっちのチームを応援すればいいか、困ってしまいました。最後はや。ぱり阪神タイガースを応援することにしました。大阪の人と一緒に応援する方が楽しいと思。たからです。

その日、電車で甲子園へ行きました。甲子園はずいぶん大きくて綺麗な野球場です。それに人がとても多くてびっくりしました。皆阪神のユニフォームを着て、お弁当を食べたり話したりしていました。私達が席にすわるとすぐ試合が始まりました。選手には一人ずつ自分の歌があります。そして、席のそばの人は皆一緒に歌っていて、皆は選手の心と一体のようです。でも、試合は五回に日本ハムが一点を取ってから阪神は誰も点を取れませんでした。九回の際には友達が「阪神は負けるかなあ、残念ですね」と言いました。それからもうそろそろ帰ろうかと思いはじめた、ちょうどその時、阪神が一点を取ったのです。皆もう一度一生懸命応援していました。最後まで、もう2アウト、2ストライク、3ボールで、チャンスは一球しがないので、阪神が勝つかもできません。そして阪神の選手がボールを打って人々が立ちました。前の席のおじさんは私にハイタッチをして、「よかった」

と言いました。皆はとても嬉しそうでした。

日本へ来て初めてプロ野球の試合を見て深く感動しました。どんなことも同じだと思います。最後まで絶対にあきらめないことです。全力で頑張れば勝っても負けても後悔しません。それで十分でしょう。